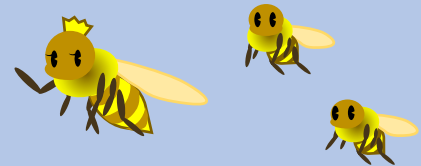


東海の畜産



令和8年3月
農林水産省
東海農政局
生産部畜産課

目次

[1. 東海の農業・畜産の概要](#)

[2. 乳用牛](#)

[3. 肉用牛](#)

[4. 豚](#)

[5. 採卵鶏](#)

[6. うずら](#)

[7. 肉用鶏](#)

[8. 飼料](#)

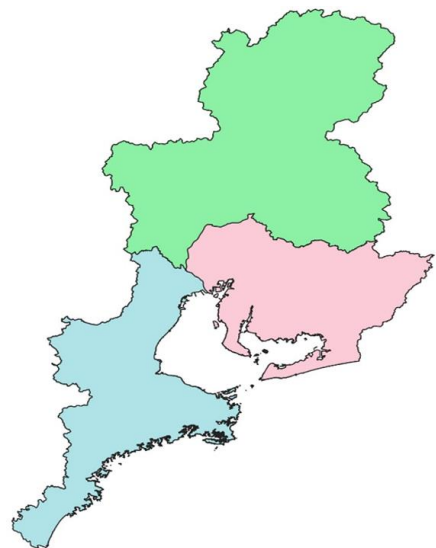
[9. 養蜂](#)

[10. 競馬（概要）](#)

[11. 畜産物の輸出](#)

○利用上の注意

- ・東海（地域）：岐阜県、愛知県、三重県
- ・統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内容の計が一致しない場合がある
- ・各項目番号を押していただくと、該当ページに飛ぶことができますのでご活用ください



4. 豚

○飼養戸数・飼養頭数・一戸当たり飼養頭数の全国順位【令和6年2月1日時点】

・飼養戸数 (単位：戸)

順位	都道府県	戸数
1	鹿児島	387
2	宮崎	261
3	千葉	216
4	茨城	208
5	北海道	186
6	沖縄	174
7	群馬	163
8	愛知	138
9	熊本	126
10	宮城	88
⋮		
24	三重	40
⋮		
28	岐阜	26
⋮		
	合計	3,130
	平均	67

・飼養頭数 (単位：頭)

順位	都道府県	頭数
1	鹿児島	1,200,000
2	北海道	752,200
3	宮崎	721,900
4	群馬	610,800
5	千葉	580,700
6	岩手	459,100
7	茨城	424,000
8	熊本	347,900
9	青森	334,800
10	栃木	324,900
⋮		
12	愛知	287,400
⋮		
22	三重	98,900
⋮		
24	岐阜	91,300
⋮		
	合計	8,798,000
	平均	187,184.00

・一戸当たり飼養頭数 (単位：頭/戸)

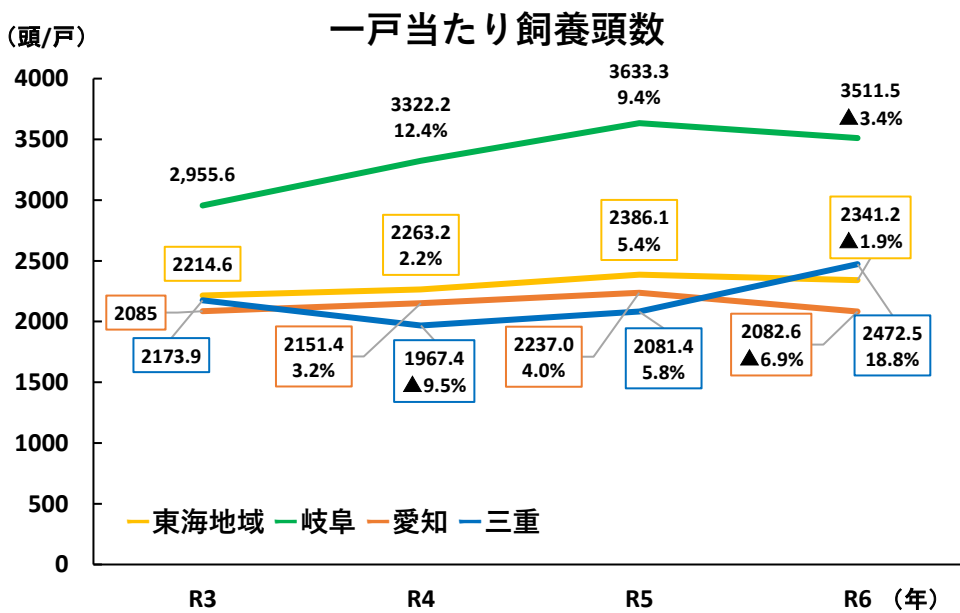
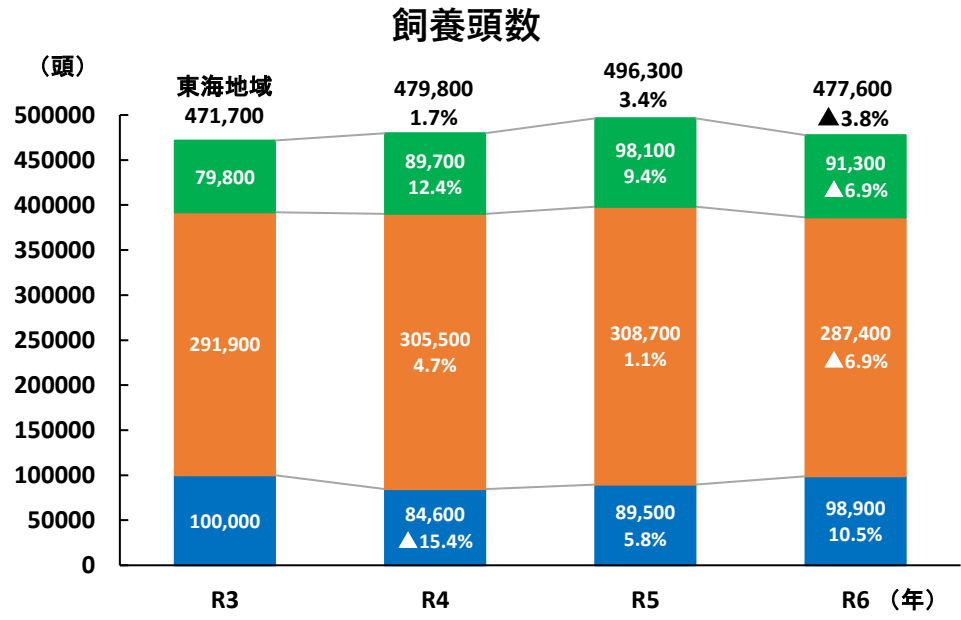
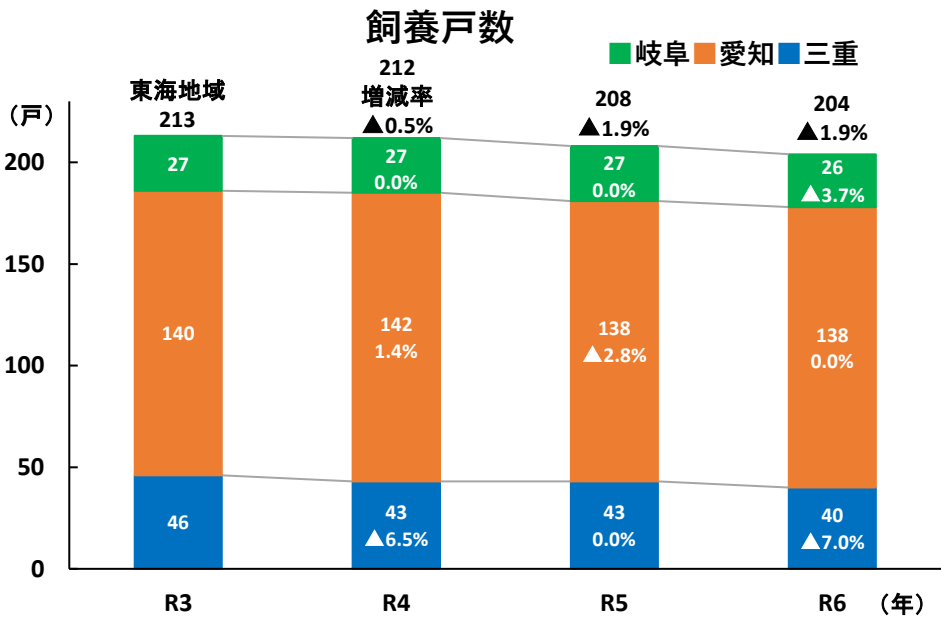
順位	都道府県	一戸当たり
1	島根	7,840.0
2	青森	6,975.0
3	広島	6,150.0
4	岩手	5,531.3
5	山口	5,350.0
6	秋田	4,604.5
7	鳥取	4,414.3
8	大分	4,140.5
9	北海道	4,044.1
10	栃木	3,962.2
⋮		
12	岐阜	3,511.5
⋮		
22	三重	2,472.5
⋮		
25	愛知	2,082.6
⋮		
	合計	
	平均	2810.9

・愛知県は、東海地域の中で飼養戸数及び飼養頭数が最も多く全国的に見ても上位を占めている

参考資料：農林水産省「畜産統計調査」

4. 豚

○飼養戸数・飼養頭数・一戸当たり飼養頭数の推移【各年2月1日時点】



- ・飼養戸数は年々減少しているが、飼養頭数はほぼ横ばいで推移している
- ・岐阜県は、一戸当たりの飼養頭数が東海地域の中で一番多く、令和4・5年にかけて特に増加している
- ・三重県では、令和6年にかけて一戸当たりの飼養頭数が特に増加している

参考資料：農林水産省「畜産統計調査」
 ※令和2年は、2020年農林業センサス実施年のため調査を実施していない

4. 豚

○用途別飼養頭数全国順位【令和6年2月1日時点】及びと畜頭数全国順位【令和6年】

・子取り用めす豚 (単位：頭)

順位	都道府県	子取りめす
1	鹿児島	112,300
2	北海道	66,200
3	宮崎	62,400
4	群馬	51,300
5	千葉	46,500
6	岩手	43,500
7	茨城	34,700
8	秋田	29,200
9	熊本	28,600
10	栃木	26,400
11	愛知	25,600
⋮		
24	三重	6,580
⋮		
26	岐阜	6,010
⋮		
	合計	758,300
	平均	17,231

・種おす豚 (単位：頭)

順位	都道府県	種雄
1	鹿児島	3,690
2	北海道	1,880
3	茨城	1,780
4	宮崎	1,650
5	群馬	1,550
6	岩手	1,460
7	愛知	1,160
8	千葉	1,130
9	熊本	1,060
10	沖縄	890
⋮		
27	三重	190
⋮		
29	岐阜	140
⋮		
	合計	24,800
	平均	539

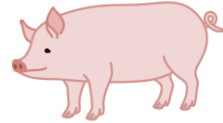
・肥育豚 (単位：頭)

順位	都道府県	肥育
1	鹿児島	856,200
2	北海道	625,400
3	宮崎	607,000
4	群馬	544,700
5	千葉	527,400
6	岩手	385,600
7	茨城	385,200
8	青森	297,600
9	熊本	293,100
10	栃木	290,700
11	愛知	258,900
⋮		
21	三重	88,300
22	岐阜	84,400
⋮		
	合計	7,362,000
	平均	156,629

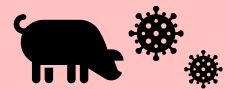
・と畜頭数 (単位：頭)

順位	都道府県	と畜頭数
1	鹿児島	2,572,466
2	北海道	1,407,198
3	青森	1,041,029
4	茨城	1,036,068
5	宮崎	982,403
6	千葉	836,151
7	群馬	723,472
8	長崎	577,399
9	埼玉	568,670
10	神奈川	566,514
11	愛知	535,023
⋮		
26	三重	165,483
⋮		
35	岐阜	88,370
⋮		
	合計	16,259,395
	平均	378,125

・いずれの用途でも、**愛知県**は東海地域の中で最も**飼養頭数**が多いかつ、全国的にみても**飼養頭数が上位**であり、養豚が盛んであるといえる



参考資料：農林水産省「畜産統計調査」、 「畜産物流通調査」



4. 豚 < 豚熱 (CSF) ・ アフリカ豚熱 (ASF) について >

○豚熱 (CSF) とは

- ・ 豚熱ウイルスにより起こる豚、いのししの熱性伝染病。強い伝染力と高い致死率が特徴
- ・ 感染豚は唾液、涙、糞尿中にウイルスを排せつ。感染豚や汚染物品等との接触等により感染拡大
- ・ 治療法はない。発生した場合の畜産業界への影響が甚大であるため、家畜伝染病に指定
- ・ 世界各国に分布しているが、北米、オーストラリア、スウェーデン等は清浄化を達成

☆日本国内の養豚農家では、2018年9月から2026年2月までに101事例が発生
(これに伴い、豚熱発生都府県では輸出停止措置がとられているが、相手国の受け入れが確認できた場合、輸出を再開している国・畜産物等がある)

参考：農林水産省「豚熱 (CSF) について」、動物検疫所「豚熱の発生に伴う豚肉等の輸出停止・再開について」

○アフリカ豚熱 (ASF) とは

- ・ ASFウイルスが感染し起こる豚、いのししの発熱・全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病
- ・ 汚染された豚肉や豚肉加工品の豚への給餌や、豚同士の直接・間接的な接触により感染拡大
- ・ 治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であるため、家畜伝染病に指定

☆ASFは、日本での発生は確認されていないが、アフリカでは常在的に、ロシア、韓国や台湾などアジアでも発生が確認されているため、日本にも近づいている。海外からの侵入に対し警戒を強め、発生予防に努めることが重要

参考：農林水産省「アフリカ豚熱 (ASF) について」

- ★東アジアで発生していないのは日本のみ！
- ★海外から、肉の入った食品を日本国内に持ち込まないようにしましょう！
- ★帰国後1週間は農場や動物に近づかないようにしましょう！
(服や靴についたウイルスを介しても感染するため)



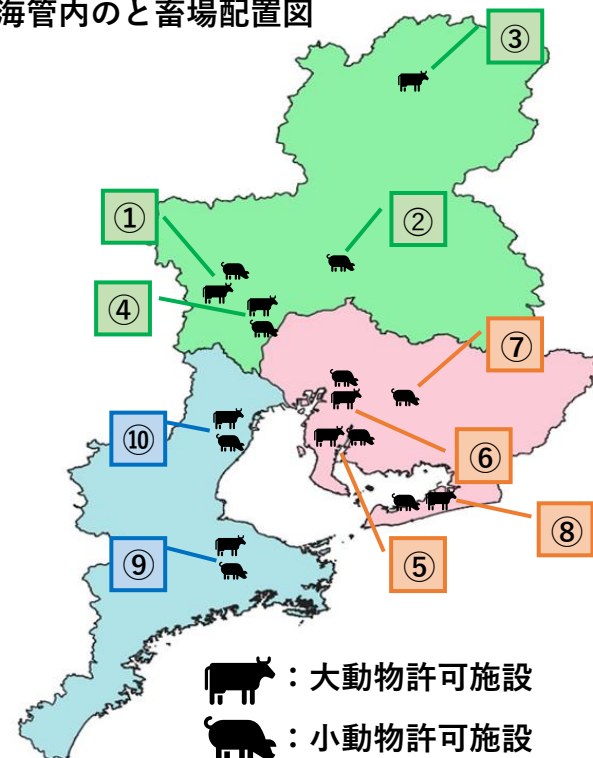
東海管内のと畜場等一覧

	と畜場		食肉卸売市場		
	名称	所在地	名称	所在地	
岐阜	養老町立食肉事業センター	養老町			
	中濃ミート事業協同組合	関市			
	飛騨食肉センター（飛騨ミート地方卸売市場）				高山市
	岐阜市食肉地方卸売市場（岐阜市食肉地方卸売市場）				岐阜市
愛知	半田食肉センター	半田市			
	名古屋市南部と畜場（名古屋市中央卸売市場南部市場）				名古屋市
	豊田食肉センター	豊田市			
	東三河食肉流通センター（地方卸売市場東三河食肉流通センター）				豊橋市
三重	三重県松阪食肉流通センター	松阪市			
	四日市市食肉センター（四日市市食肉地方卸売市場）				四日市市

	家畜市場	
	名称	所在地
岐阜	全農岐阜県本部関家畜流通センター	関市
	全農岐阜県本部飛騨家畜流通センター	高山市
	岐阜県中央家畜市場	岐阜市
愛知	あいち家畜市場	豊橋市
三重	全農三重県本部松阪家畜市場	松阪市
	全農三重県本部伊賀家畜市場	伊賀市

	と畜場	設置者	大動物許可件数 (頭/日)	小動物許可件数 (頭/日)
岐阜	①養老町立食肉事業センター	市町村	70	290
	②中濃ミート事業協同組合	組合・その他	0	180
	③飛騨食肉センター	組合・その他	76	0
	④岐阜市食肉地方卸売市場	市町村	75	600
愛知	⑤半田食肉センター	組合・その他	12	300
	⑥名古屋市南部と畜場	市町村	100	1000
	⑦豊田食肉センター	組合・その他	0	395
	⑧東三河食肉流通センター	会社	65	1200
三重	⑨三重県松阪市食肉流通センター	会社	100	550
	⑩四日市市食肉センター	市町村	50	350

○東海管内のと畜場配置図



参考資料：厚生労働省「と畜・食鳥検査に関する実態調査の結果について（令和7年8月29日）」
 公益社団法人 日本食肉市場卸売協会「食肉市場のご紹介」
 独立行政法人 家畜改良センター「家畜市場リスト（令和7年7月末時点）」



5. 採卵鶏

○飼養戸数・飼養羽数・一戸当たり飼養羽数の全国順位【令和6年2月1日時点】

・飼養戸数 (単位：戸)

順位	都道府県	戸数
1	愛知	109
2	鹿児島	98
3	千葉	88
4	茨城	78
5	埼玉	63
6	三重	63
7	北海道	56
8	福岡	54
9	長崎	51
10	岡山	48
⋮		
16	岐阜	42
⋮		
	合計	1,640
	平均	35

・飼養羽数 (単位：千羽)

順位	都道府県	羽数
1	千葉	11,186
2	茨城	10,222
3	岡山	7,089
4	鹿児島	7,081
5	愛知	6,618
6	群馬	6,292
7	広島	6,133
8	栃木	5,208
9	兵庫	4,921
10	青森	4,902
11	三重	4,574
12	岐阜	4,542
⋮		
	合計	129,729
	平均	2,760.00

・一戸当たり飼養羽数 (単位：千羽/戸)

順位	都道府県	一戸当たり
1	青森	204.3
2	岩手	188.4
3	広島	153.3
4	岡山	147.7
5	秋田	139.9
6	群馬	136.8
7	茨城	131.1
8	千葉	127.1
9	栃木	121.1
10	兵庫	114.4
11	岐阜	108.1
⋮		
20	三重	72.6
23	愛知	60.7
⋮		
	合計	
	平均	79.1

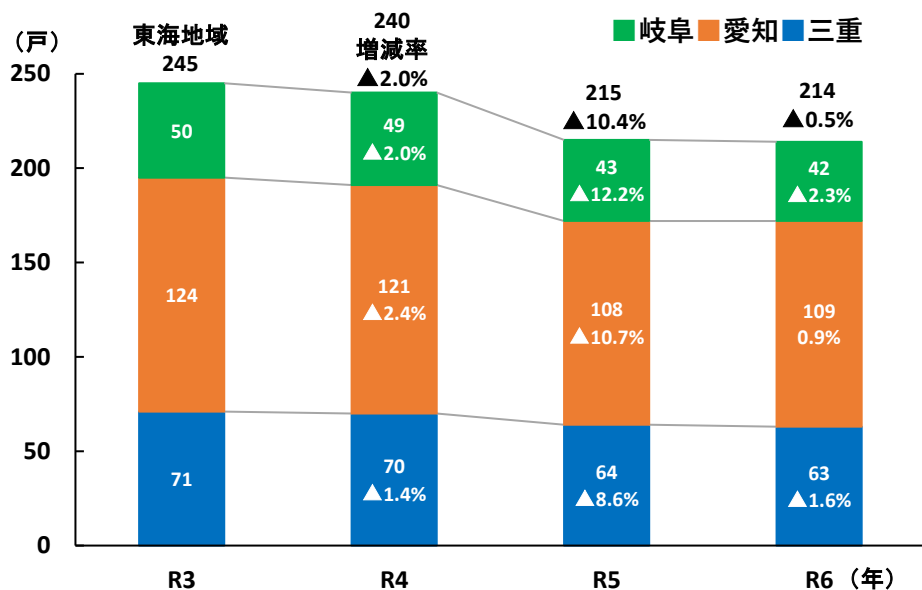
・いずれの県も、**飼養戸数**及び**飼養羽数**は、全国的に見て**上位**に位置している
 →農業産出額 (P4) でも示したとおり、東海地域では**鶏卵**の生産が盛んにおこなわれている



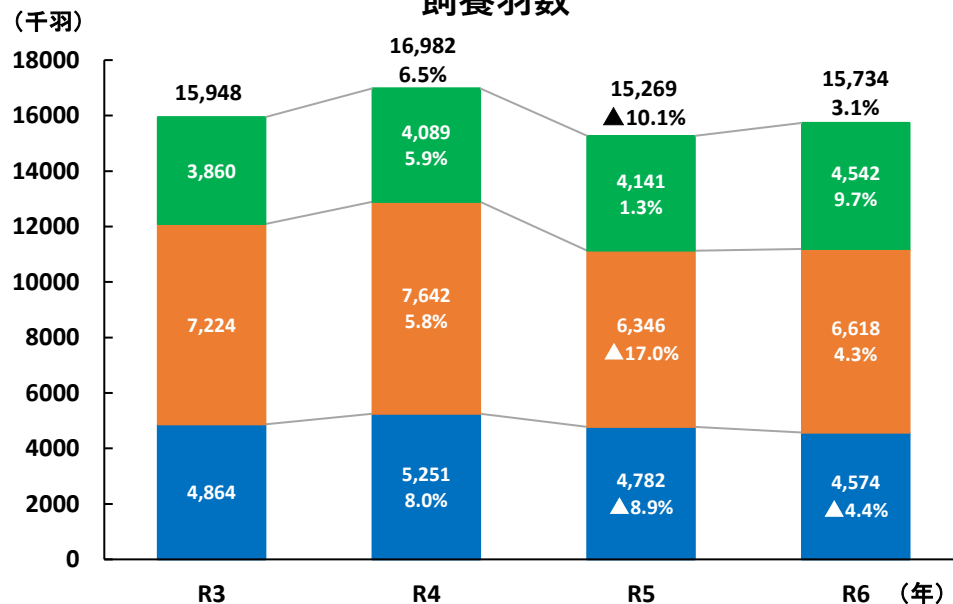
5. 採卵鶏

○飼養戸数・飼養羽数・一戸当たり飼養羽数の推移【各年2月1日時点】

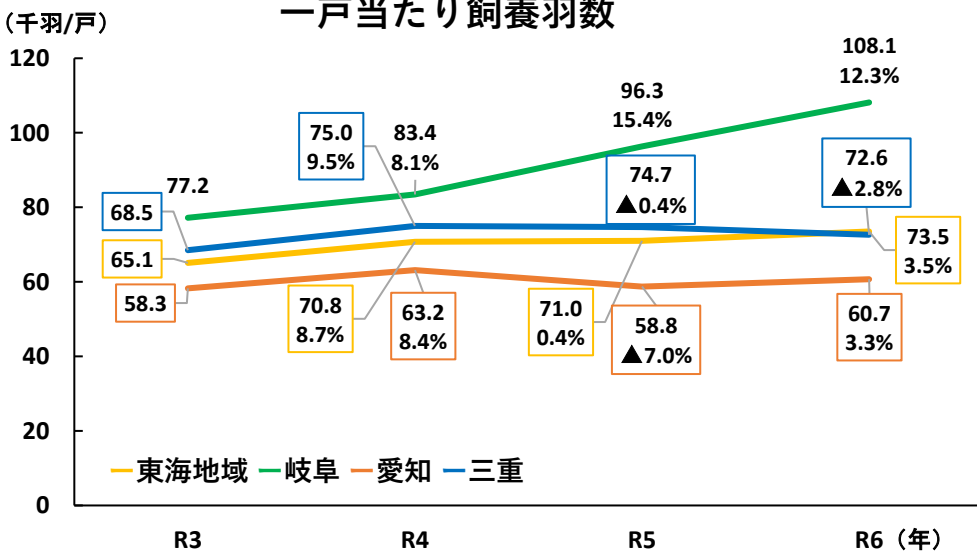
飼養戸数



飼養羽数



一戸当たり飼養羽数



- ・ 飼養戸数は年々**減少**している
- ・ 飼養羽数は、年により変動はあるものの、ほぼ**横ばい**で推移
- ・ 一戸当たりの飼養羽数は、**岐阜県**では年々**増加**しているものの、**愛知県**と**三重県**、東海地域全体としては横ばい

参考資料：農林水産省「畜産統計調査」
 ※令和2年は、2020年農林業センサス実施年のため調査を実施していない

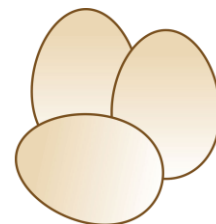
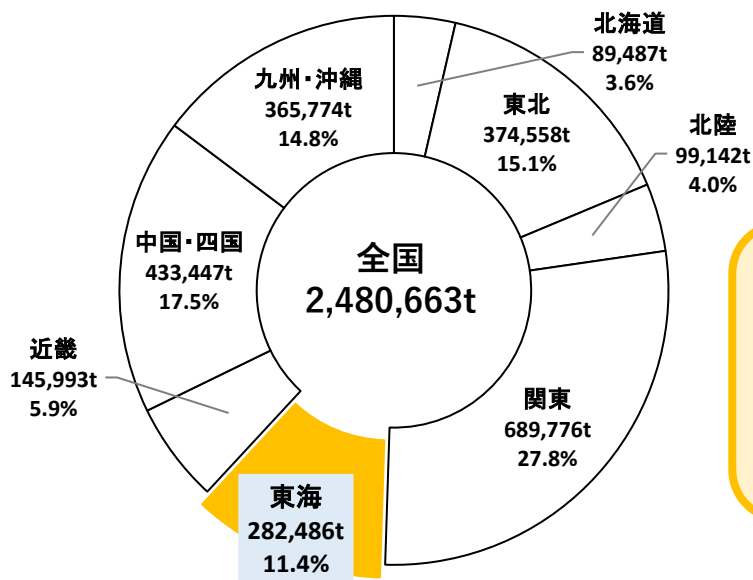


5. 採卵鶏

○鶏卵生産量全国順位 (単位：t) 【令和6年】

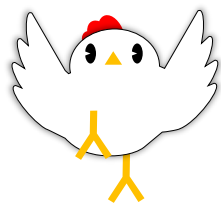
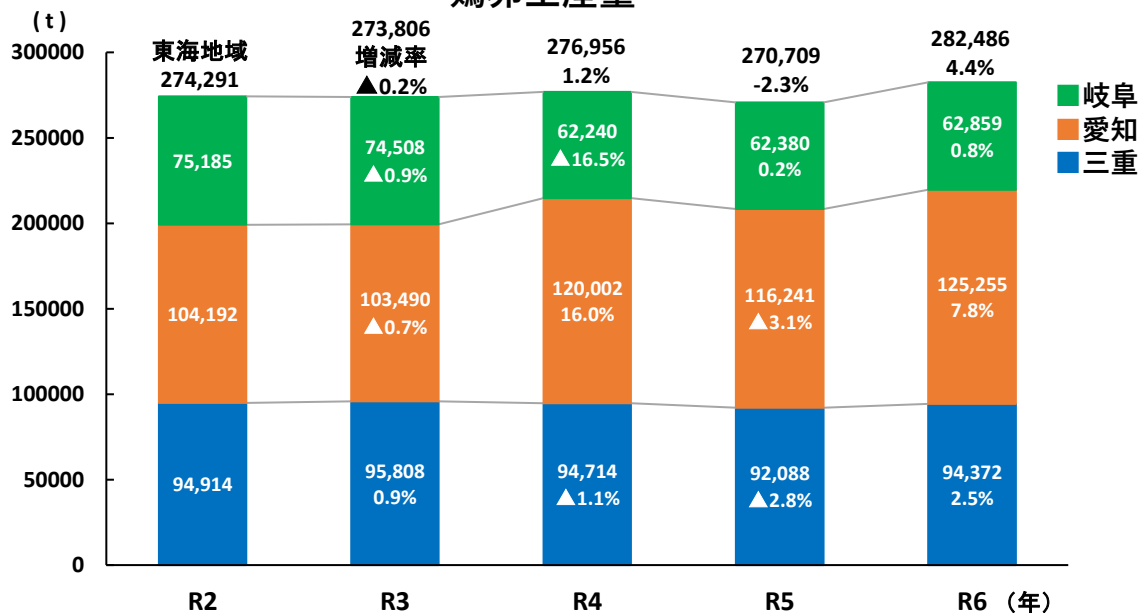
順位	都道府県	生産量
1	鹿児島	184,584
2	千葉	154,400
3	茨城	142,464
4	岡山	134,561
5	広島	130,829
6	群馬	127,180
7	愛知	125,255
8	栃木	105,490
9	青森	105,187
10	兵庫	102,024
⋮		
12	三重	94,372
⋮		
19	岐阜	62,859
⋮		
	合計	2,480,663
	平均	52,780

○地域別鶏卵生産量【令和6年】



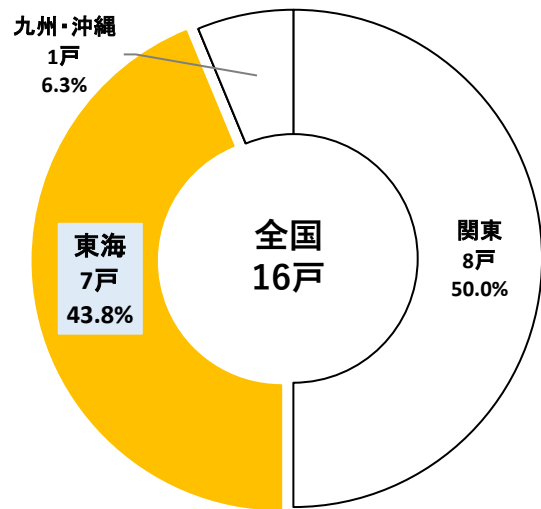
- ・鶏卵生産量は、3県とも全国的に見て上位を占めており、特に愛知県は、TOP10入りしている
- ・東海地域における鶏卵生産量は毎年横ばいで推移している

鶏卵生産量

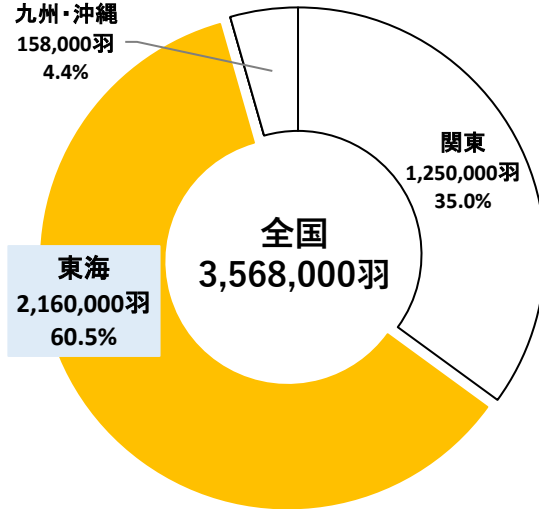


6. うずら

○地域別飼養戸数【令和5年】



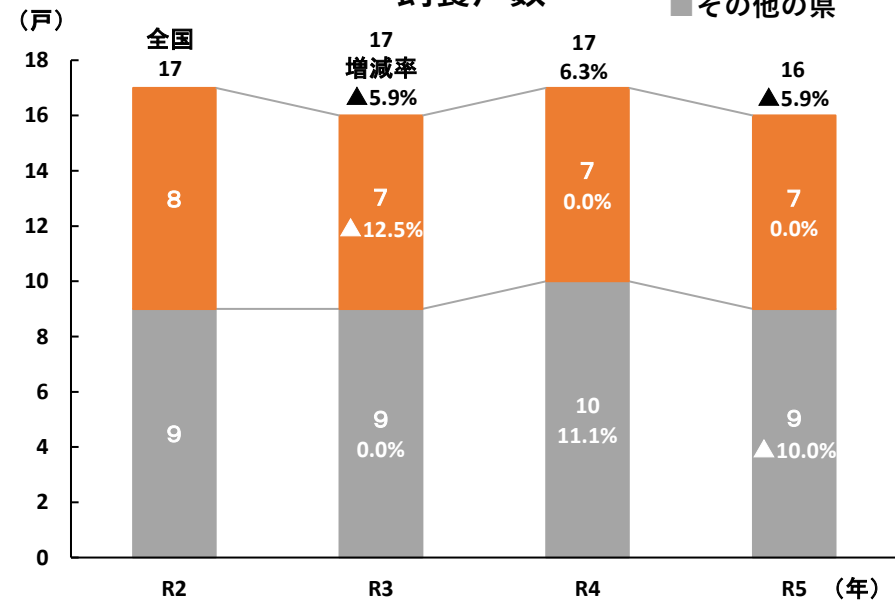
○地域別飼養羽数【令和5年】



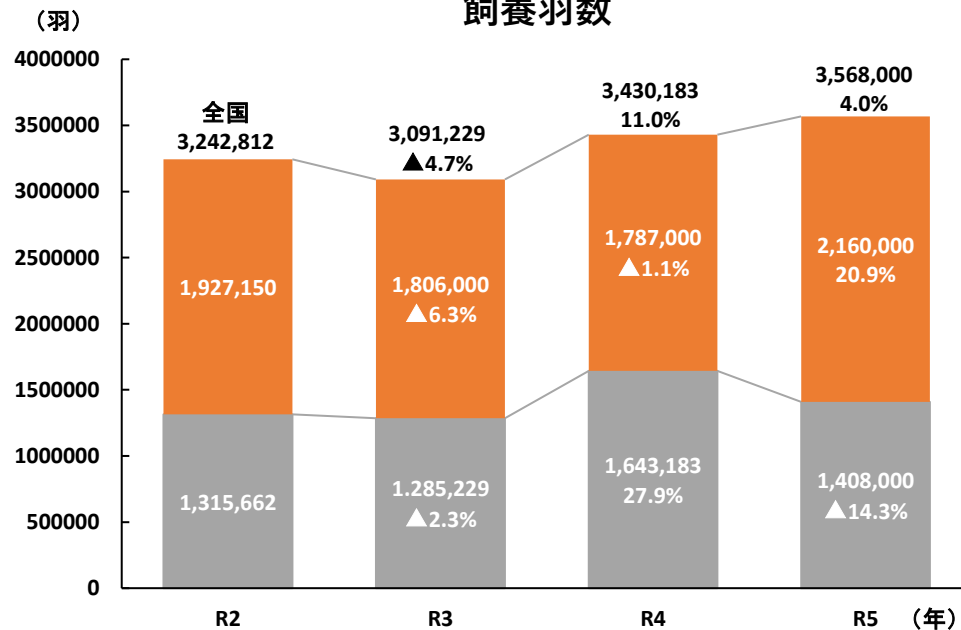
- ・東海3県のうち、**うずら**の大規模農場があるのは**愛知県**のみ
(小規模農家は、**岐阜県**と**三重県**にもある)
- ・飼養羽数は、全国のうち半数以上を占めている
- ・飼養戸数はほぼ横ばいで推移しており、飼養羽数は令和4年から**増加**している



飼養戸数



飼養羽数



参考資料：農林水産省「飼養衛生管理基準に関する過去の情報」(本統計におけるウズラの飼養戸数は、小規模農家である10万羽未満を除いている)

7. 肉用鶏 <ブロイラー>

○飼養戸数・飼養羽数・一戸当たり飼養羽数の全国順位【令和6年2月1日時点】

・飼養戸数 (単位：戸)

順位	都道府県	戸数
1	宮崎	442
2	鹿児島	402
3	岩手	301
4	徳島	134
5	佐賀	62
6	青森	59
7	熊本	56
8	長崎	48
9	大分	42
10	宮城	37
⋮		
26	愛知	12
27	岐阜	11
⋮		
35	三重	8
⋮		
	合計	2,050
	平均	50

・飼養羽数 (単位：千羽)

順位	都道府県	羽数
1	鹿児島	32,003
2	宮崎	28,155
3	岩手	23,604
4	青森	7,639
5	北海道	5,531
6	佐賀	3,929
7	徳島	3,855
8	熊本	3,746
9	長崎	3,297
10	鳥取	3,151
⋮		
22	愛知	962
⋮		
25	岐阜	939
⋮		
28	三重	662
⋮		
	合計	144,859
	平均	3,907.00

・一戸当たり飼養羽数 (単位：千羽/戸)

順位	都道府県	一戸当たり
1	北海道	691.4
2	鳥取	286.5
3	岡山	157.8
4	青森	129.5
5	新潟	120.1
6	島根	94.3
7	岐阜	85.4
8	三重	82.8
9	広島	80.9
10	千葉	80.6
11	愛知	80.2
⋮		
	合計	
	平均	70.7

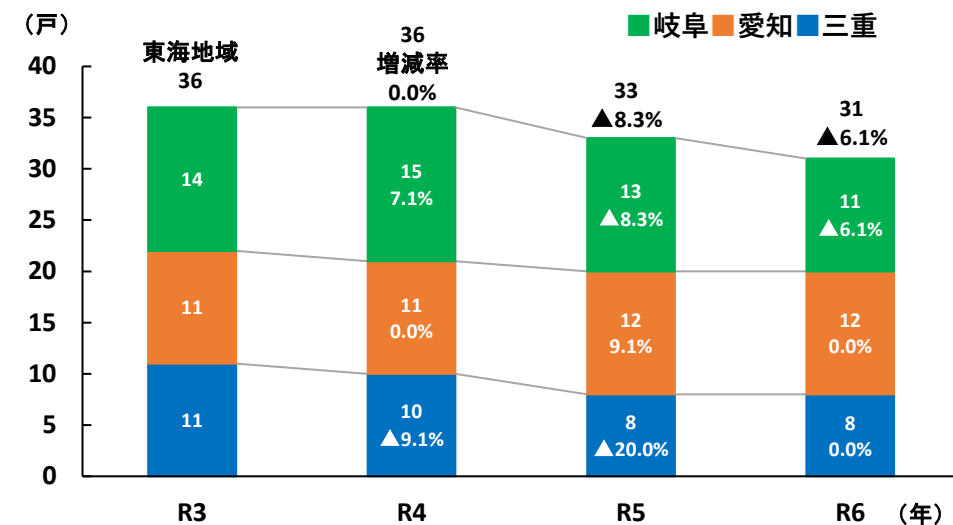
・飼養戸数及び飼養羽数の順位は全国の中で中位であるものの、一戸当たりの飼養羽数では上位に位置しており、東海地域では大規模農場によるブロイラー生産が行われている

参考資料：農林水産省「畜産統計調査」

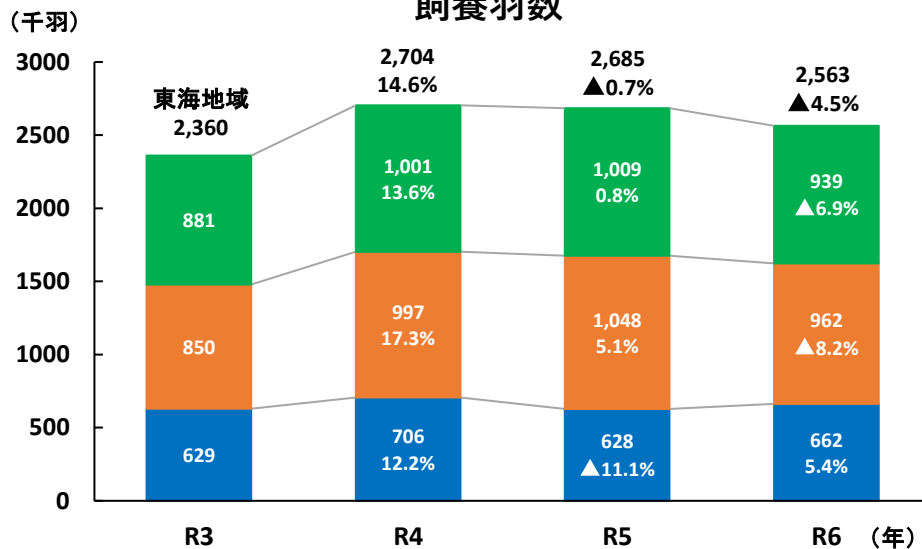
7. 肉用鶏 <ブロイラー>

○飼養戸数・飼養羽数・一戸当たり飼養羽数の推移【各年2月1日時点】

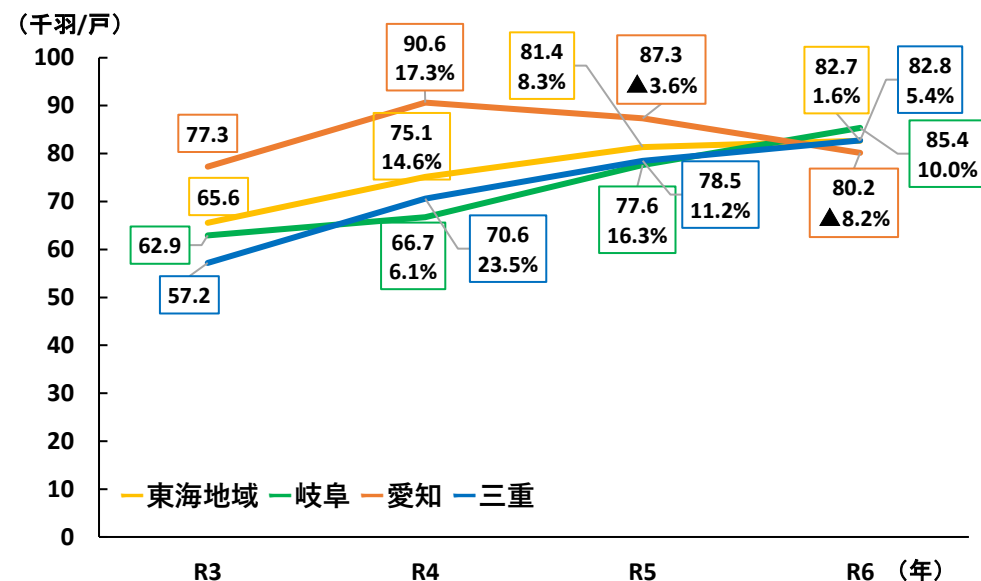
飼養戸数



飼養羽数



一戸当たり飼養羽数

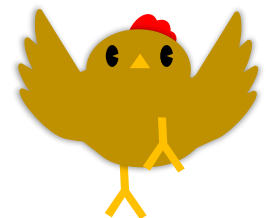
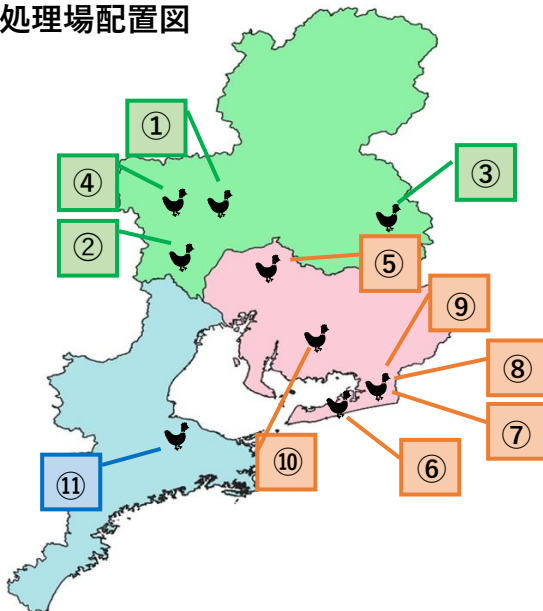
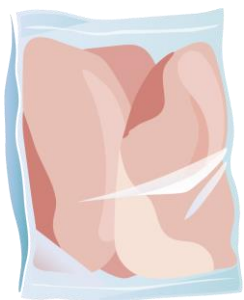


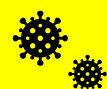
- ・ 飼養戸数は年々**減少**している
- ・ 飼養羽数及び一戸当たりの飼養羽数は、令和3年から令和4年にかけて**増加**し、それ以降は**横ばい**で推移している
- ・ 一戸当たりの飼養羽数は3県とも**同程度**である

7. 採卵鶏・うずら・肉用鶏 <食鳥処理場>

	名称	区分	所在地	許可羽数 (千羽/年)
岐阜	①岐阜アグリフーズ株式会社	ブロイラー	山県市	3,000
	②コーチンミライズ株式会社	ブロイラー	梅津市	260
	③農事組合法人 東濃ミートセンター	ブロイラー	中津川市	1,997
	④(株)ギフショク	成鶏	岐阜市	1,300
愛知	⑤(株)奥三河どり	ブロイラー	犬山市	3,018
	⑥(株)マルセ	ブロイラー	田原市	941
	⑦一般社団法人シライフーズ	成鶏	豊橋市	4,000
	⑧株式会社丸文牧野商店	成鶏	豊橋市	1,210
	⑨丸トポートリー食品株式会社	ブロイラー	豊橋市	1,829
	⑩六ツ美養鶏加工協同組合	成鶏	岡崎市	4,000
三重	⑪三重チキン株式会社	ブロイラー	松阪市	1,444

○東海管内の食鳥処理場配置図





★家きん（採卵鶏・うずら・肉用鶏）＜鳥インフルエンザについて＞

○鳥インフルエンザとは

- ・ A型インフルエンザが引き起こす鳥の病気
- ・ 家畜伝染病予防法では、家きん（ニワトリ、うずら等）に対する病原性やウイルスの型により、「**高病原性鳥インフルエンザ**」、「**低病原性鳥インフルエンザ**」などに区別している
- ・ **高病原性鳥インフルエンザ**は特に**伝染力が強く、致死率も高い**
- ・ 国内の家きん飼養農場で**高病原性鳥インフルエンザ**、**低病原性鳥インフルエンザ**が発生した場合、**家畜伝染病予防法**に基づき、**国内の生きた家きんがウイルスに感染することを防止**することを目的とし、**防疫措置を実施**する

★日本国内での家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況

- ・ 令和6年シーズンで14道県51事例発生した。
- ・ 令和7年シーズン（今シーズン）は、2026年2月までに**20事例発生**

★農場における発生予防対策

- ・ 農場に出入りする全ての人・車両・物品の**衛生対策（洗浄・消毒等）を徹底**する
- ・ 衛生管理区域・家きん舎**専用**の、衛生的な長靴や衣服を着用する
- ・ 家きん舎は定期的に点検して、畜舎の壁、防鳥ネット等の破損等はすぐに修繕し、野生動物の侵入や誘引を防止する

また、鳥インフルエンザの発生農場を見に行くこともやめましょう！
防疫措置の妨げやウイルスを他の場所へ運んでしまい、感染が広がってしまう恐れがあります。まん延防止にご協力をお願いいたします。